

～旧石狩市・厚田・浜益の地域特性分析（在宅介護実態調査から抜粋）～

【A票】要介護者の在宅生活の継続についての調査

【調査概要】

調査対象者数：旧石狩市 199名、厚田 21名、浜益 15名（計235名）

1. 世帯構成の特性

地域	単身世帯(%)	夫婦のみ世帯(%)	その他(%)	無回答(%)
旧石狩市	17.5	31.1	49.2	2.2
厚田	38.1	14.3	42.9	4.7
浜益	33.3	26.7	40.0	－

2. 家族介護の状況

地域	介護なし(%)	週1日未満(%)	週1-2日(%)	週3-4日(%)	ほぼ毎日(%)	無回答(%)
旧石狩市	8.5	12.4	11.3	4.5	60.5	2.8
厚田	23.8	33.4	4.8	19.0	19.0	－
浜益	26.7	13.3	6.7	－	53.3	－

3. 主な介護者の続柄

地域	配偶者(%)	子(%)	子の配偶者(%)	孫(%)	兄弟・姉妹(%)	その他(%)	無回答(%)
旧石狩市	40.1	50.3	4.5	1.3	1.3	1.3	1.2
厚田	31.3	50.0	6.3	－	6.2	－	6.2
浜益	45.5	45.5	9.0	－	－	－	－

4. 主な介護者の年齢構成

地域	40代以下(%)	50代(%)	60代(%)	70代(%)	80歳以上(%)	わからない(%)
旧石狩市	12.7	18.5	28.0	23.6	16.6	0.6
厚田	6.3	25.0	31.3	18.7	18.7	－
浜益	9.1	27.3	18.2	45.4	－	－

5. 介護離職の状況

地域	離職者あり(%)	転職者あり(%)	離職なし(%)	わからない(%)	無回答(%)
旧石狩市	6.3	1.3	87.3	4.5	0.6
厚田	－	－	100.0	－	－
浜益	－	－	100.0	－	－

6. 介護保険外サービスの利用状況（複数選択可）

地域	配食(%)	調理(%)	掃除・洗濯(%)	買い物（宅配は含まない）(%)	ゴミ出し(%)	外出同行（通院、買い物など）(%)	移送サービス（介護・福祉タクシー等）(%)	見守り、声かけ(%)
旧石狩市	9.0	3.4	0.6	2.3	2.3	1.1	0.6	3.4
厚田	4.8	－	4.8	－	－	－	19.0	－
浜益	20.0	－	－	－	－	－	－	13.3

地域	サロンなどの定期的な通いの場(%)	その他(%)	利用していない(%)	無回答(%)
旧石狩市	2.3	4.5	80.2	2.3
厚田	19.0	－	52.4	14.3
浜益	20.0	－	60.0	－

7. 今後必要と感じる支援・サービス(複数選択可)

地域	配食(%)	調理(%)	掃除・洗濯(%)	買い物(宅配は含まない)(%)	ゴミ出し(%)	外出同行(通院、買い物など)(%)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)(%)	見守り、声かけ(%)
旧石狩市	6.8	6.8	7.3	6.2	2.3	7.9	10.2	4.5
厚田	4.8	9.5	9.5	4.8	4.8	28.6	57.1	14.3
浜益	13.3	－	－	－	－	20.0	46.7	6.7

地域	サロンなどの定期的な通いの場(%)	その他(%)	特になし(%)	無回答(%)
旧石狩市	2.3	10.7	67.2	1.1
厚田	19	4.8	23.8	－
浜益	20.0	26.7	13.3	6.7

【B票】主な介護者の就労の継続について

調査対象者数:旧石狩市 157名、厚田区 16名、浜益区 11名(計206名)※就労者は92名

8. 主な介護者の勤務形態

地域	フルタイム(%)	パートタイム(%)	働いていない(%)	わからない(%)	無回答(%)
旧石狩市	24.2	17.8	51.6	3.2	3.2
厚田	37.5	18.8	31.3	12.4	－
浜益	27.3	27.3	36.4	－	9.0

9. 働き方の調整状況(就労者のみ)(複数選択可)

地域	調整なし(%)	労働時間調整(%)	休暇取得(%)	在宅勤務(%)	その他調整(%)	わからない(%)
旧石狩市	31.8	27.3	4.5	6.1	19.7	18.2
厚田	66.7	11.1	11.1	－	11.1	－
浜益	33.3	－	50.0	－	16.7	16.7

10. 勤め先に求める支援(就労者のみ)(複数選択可)

地域	自営業等勤め先はない(%)	休暇等の制度の充実(%)	制度を利用しやすい職場づくり(%)	労働時間の柔軟な選択(%)	働く場所の多様化(在宅勤務など)(%)	仕事と介護の両立に関する情報提供(%)	介護に関する相談窓口等の設置(%)	経済的な支援(%)
旧石狩市	9.1	13.6	6.1	10.6	1.5	9.1	6.1	12.1
厚田	22.2	11.1	－	－	11.1	－	－	44.4
浜益	－	50.0	16.7	16.7	－	－	－	－

11. 仕事と介護の両立見通し(就労者のみ)

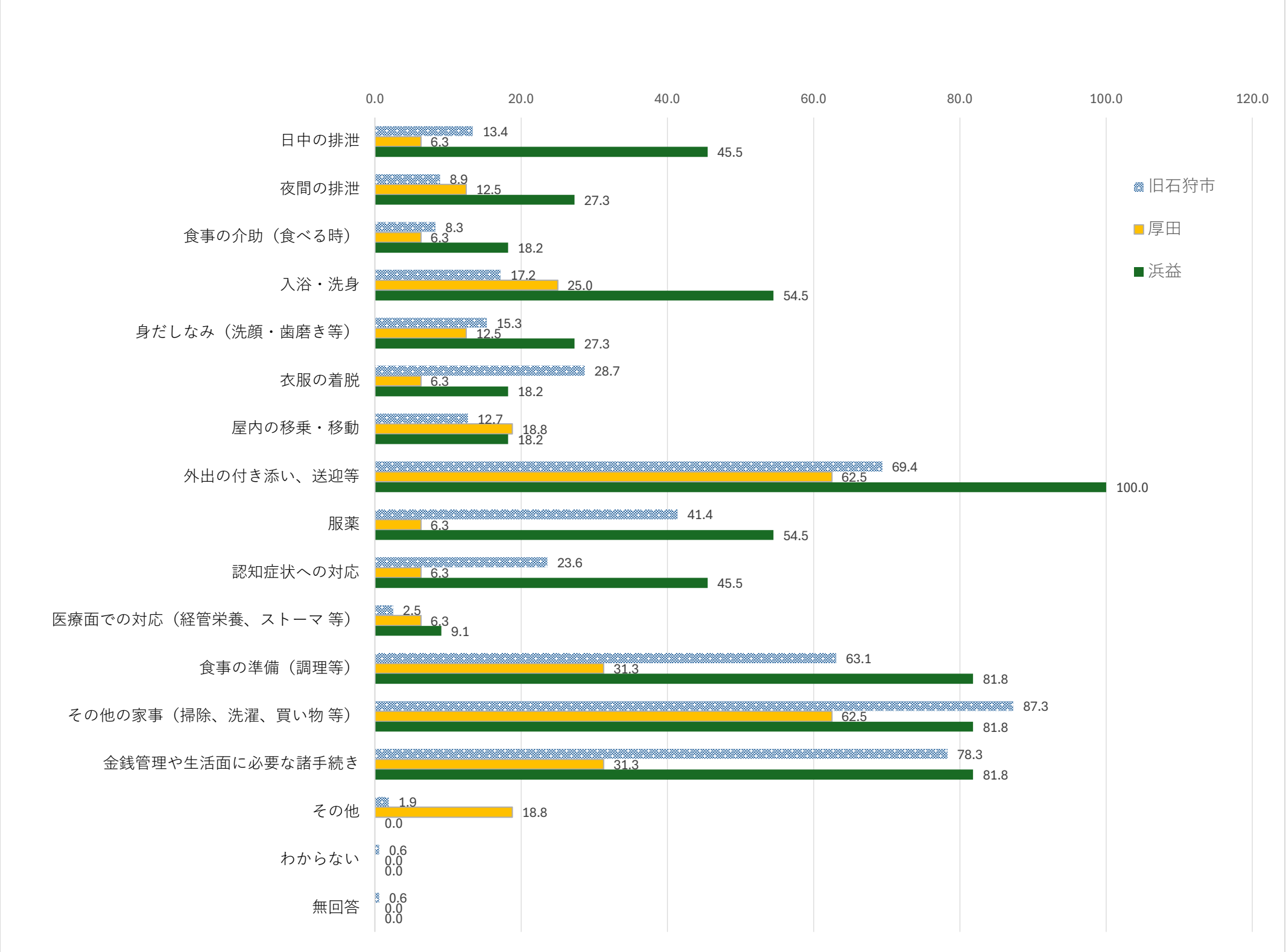
地域	問題なく続けられる(%)	何とか続けられる(%)	やや難しい(%)	かなり難しい(%)	わからない(%)	無回答(%)
旧石狩市	28.8	37.9	1.5	6.1	22.7	3.0
厚田	33.4	22.2	11.1	－	－	33.3
浜益	16.7	33.3	33.3	16.7	－	－

12. 主な介護者の健康状態(2つまで選択可)

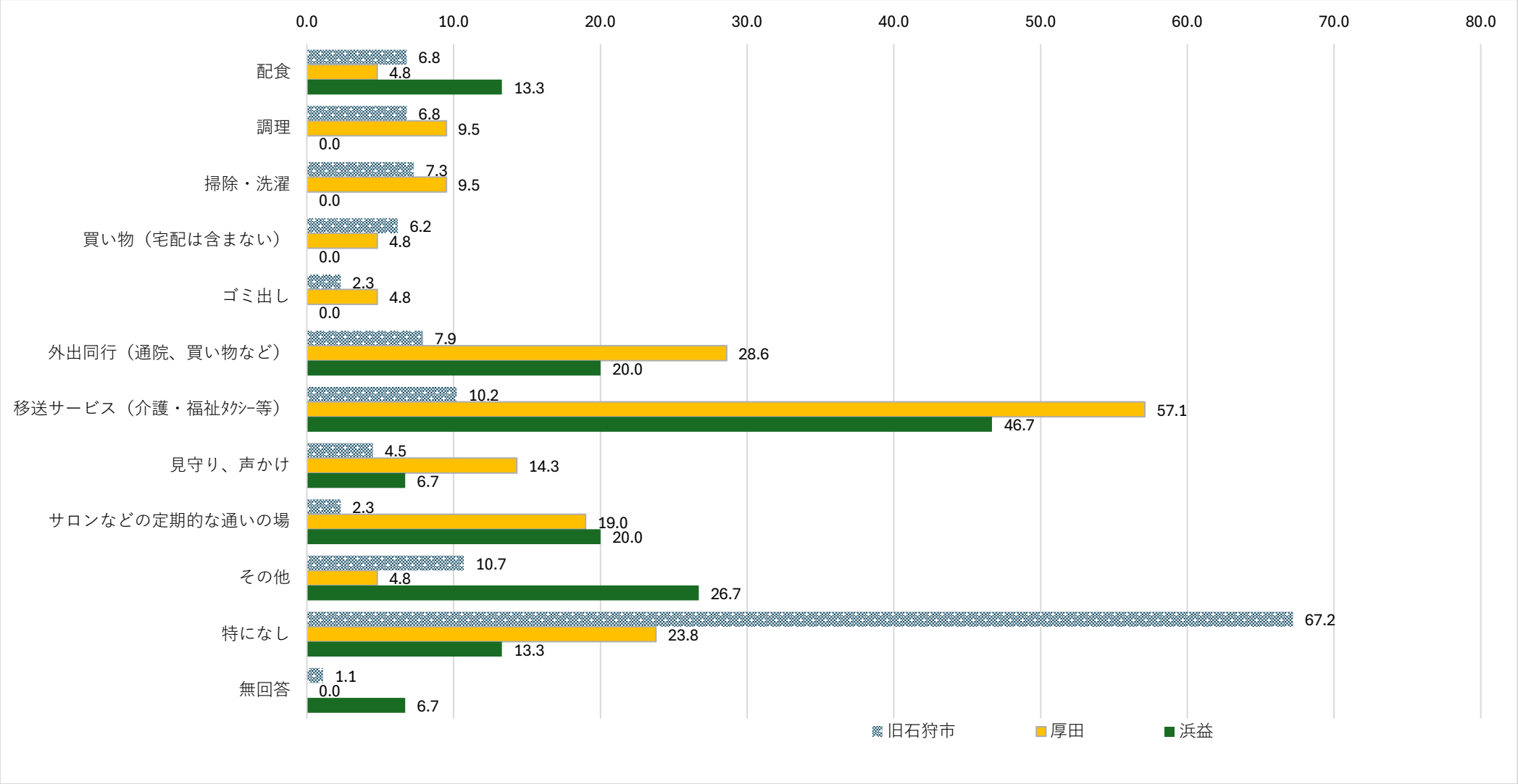
地域	疲れやすい(%)	睡眠不足(%)	イライラ(%)	持病通院(%)	持病通院(%)	不調なし(%)	わからない(%)	無回答(%)
旧石狩市	17.2	14	12.1	20.4	24.2	20.4	10.2	12.7
厚田	6.3	6.3	－	6.3	6.3	43.8	37.5	6.3
浜益	36.4	18.2	27.3	9.1	45.5	18.2	－	9.1

地域ごとの特性が顕著に表れた設問

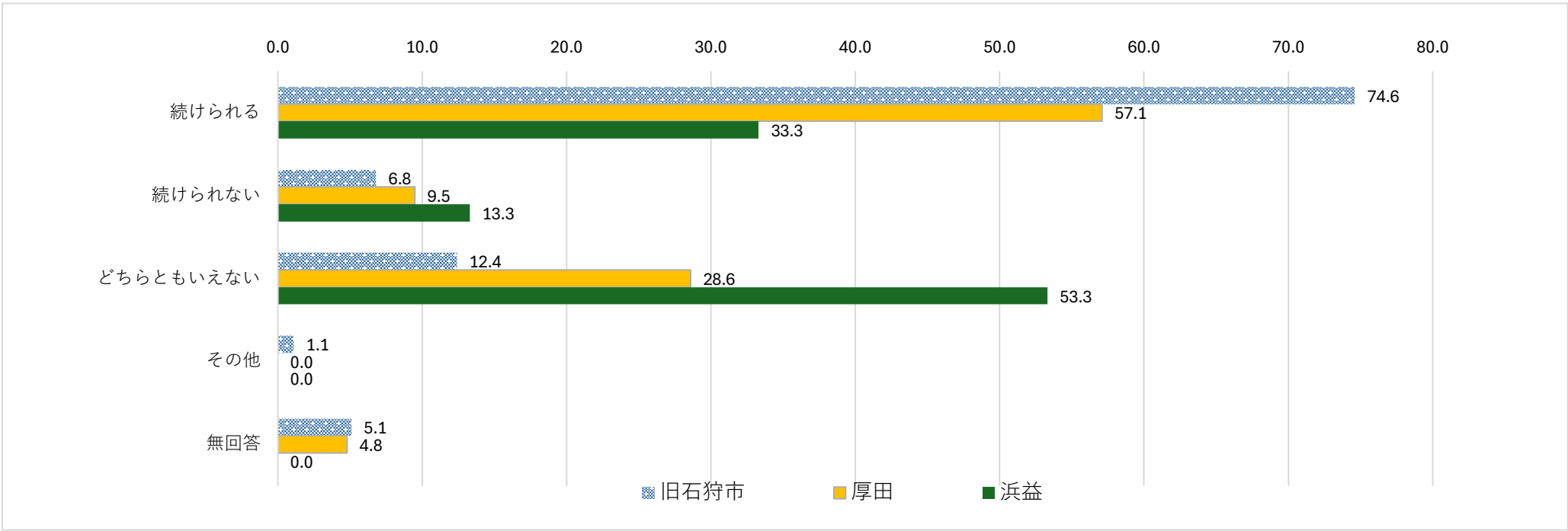
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)



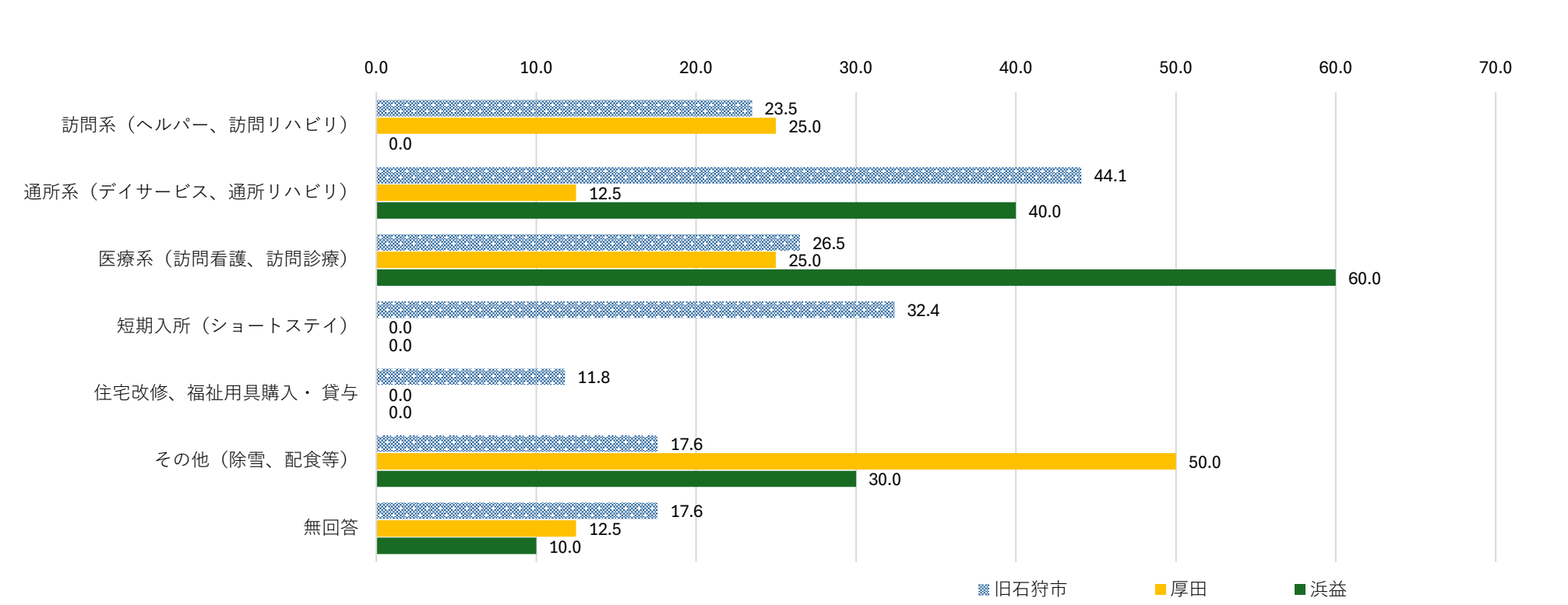
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)



問15 現在の介護サービス(介護保険サービス以外の支援・サービス含む)を利用しながら、今後も自宅で生活することができますか
(1つを選択)

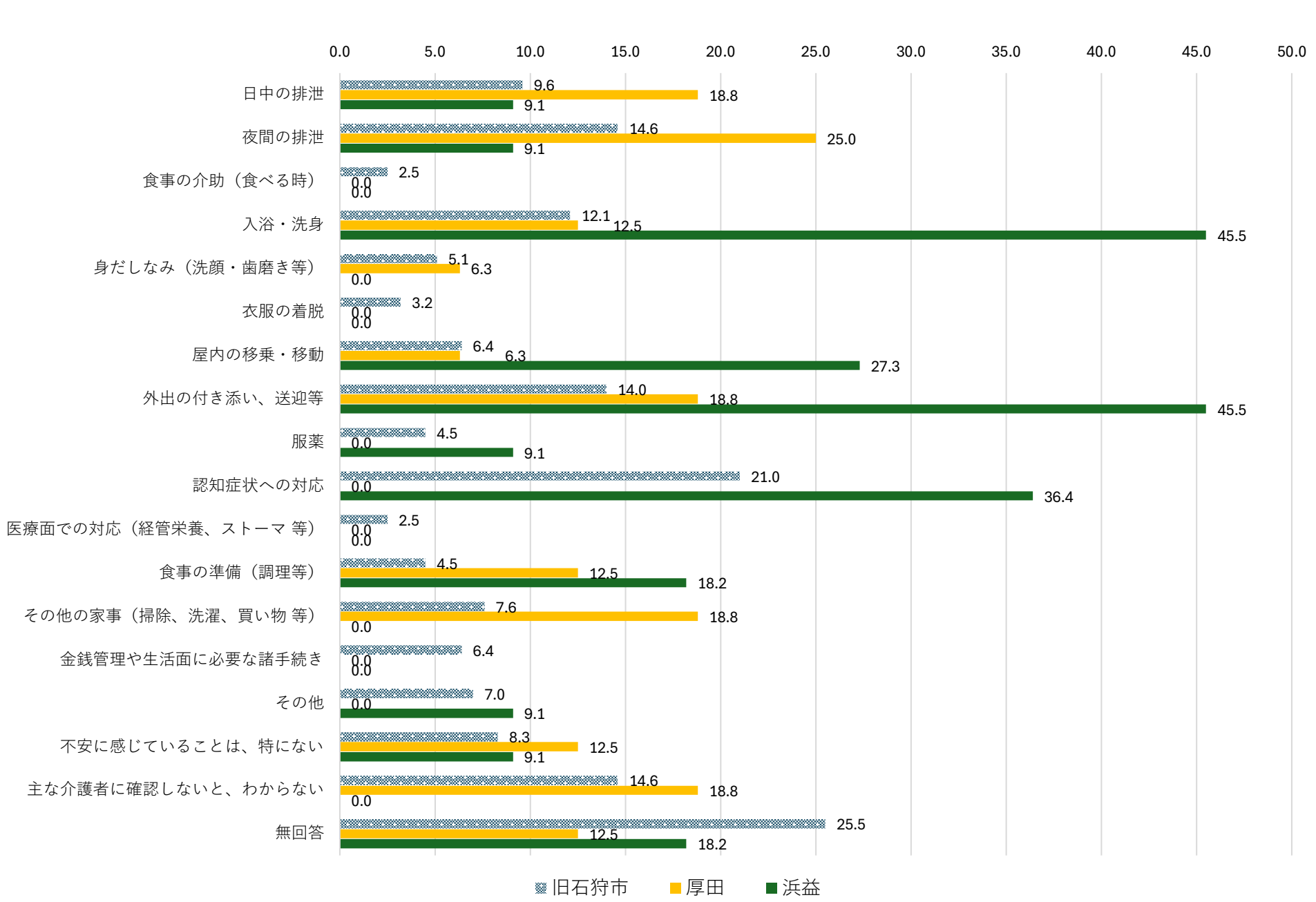


問 16 利用できない または不足を感じるサービスをすべて選んでください。



【B票】

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください



【A票・B票・地域ごとの特性が顕著に表れた設問を統合した総括】

【旧石狩市】

旧石狩市は、都市型の介護環境を特徴とし、同居家族による日常的な介護体制が確立している地域である。

要介護者の状況（A票）では、「ほぼ毎日介護がある」世帯が60.5%と3地域で最も高く、家族による生活支援が日常的なものとなっている。一方で、介護保険外サービスの利用率は低く（利用なし80.2%）、家族が介護の大部分を担っていると考えられる。

在宅生活継続の見通しについては、「続けられる」と回答した割合が74.6%と3地域で最も高く、在宅介護継続への自信が比較的高い。「続けられない」は6.8%、「どちらともいえない」は12.4%にとどまった。

今後、必要な支援について「特になし」と回答した割合も67.2%と高く、現状のサービスに対する一定の満足度がうかがえる。

不足を感じるサービスとしては、通所系サービス（デイサービス等）が44.1%、ショートステイが32.4%と高く、介護者のレスパイト機能を持つサービスへの潜在的ニーズが多い。

介護者の状況（B票）では、介護者の半数以上が非就労（51.6%）であり、専門介護者や退職した高齢介護者が多いことがわかる。

しかし、就労している介護者においては介護離職が6.3%発生しており、両立支援策の充実が課題となっている。就労者は労働時間調整（27.3%）により対応するケースが多く、職場の柔軟な対応が在宅介護継続の支えとなっている。

課題：仕事と介護の両立支援、認知症対応への専門的支援、レスパイトサービスの拡充

【厚田】

厚田は、過疎地域特有の課題を抱える地域である。

要介護者の状況（A票）では、単身世帯が38.1%と3地域で最も高く、家族介護者が不在の世帯が多い。

「介護なし」「週1日未満」を合わせると57.2%に達し、家族介護の頻度が低い傾向にあるが、移送サービス（19%）やサロン等の通いの場（19%）といった外部サービスの利用が高く、地域資源を活用した介護体制が形成されている。

在宅生活継続の見通しについては、「続けられる」が57.1%と旧石狩市より17.5ポイント低く、「どちらともいえない」が28.6%と不安を抱える層が多い。

「続けられない」も9.5%と割合が高く、高齢者のみ世帯の多さと交通手段の不足が大きく影響していると考えられる。

不足を感じるサービスとしては、「その他（除雪、配食等）」が、50%と突出して高く、過疎地域特有の生活支援ニーズが求められている。

今後のニーズでは、移送サービスが57.1%、外出同行支援が28.6%と割合が高くなっており、交通手段の確保が最大の課題である。

介護者の状況（B票）では、フルタイム就労者が37.5%と3地域で最も高く、働きながら介護を担う現役世代が中心となっている。一方で、勤め先に求める支援として経済的支援を求める割合が多い結果となった。

課題：移送サービス・外出同行支援の拡充、除雪等の生活支援強化、利用可能なサービスの周知

【浜益】

浜益は、老老介護が最も深刻化し、在宅生活継続への不安が最も高い地域である。

要介護者の状況（A票）では、主な介護者の45.5%が70代であり、配偶者による介護も45.5%と高い割合になっている。

介護状況は「ほぼ毎日」53.3%となっており、家族による生活支援が日常的なものとなっている。

配食サービスの利用率が20%と最も高く、独居・高齢世帯の食事支援ニーズが強い。

在宅生活継続の見通しについては、「続けられる」はわずか33.3%と3地域で最も低く、「どちらともいえない」が53.3%と過半数を占めている。「続けられない」も13.3%と最も高く、約3分の2が在宅生活継続に不安や困難を感じており、深刻な状況と言える。

不足を感じるサービスとしては、医療系サービス（訪問看護、訪問診療）が60%と突出して高く、遠隔地における医療アクセスの困難さが浮き彫りとなった。通所系サービスも40%と高く、医療・介護の複合的なニーズが存在する。

介護者の状況（B票）では、仕事と介護の両立が「やや難しい」「かなり難しい」と回答した割合が合計50%に達し、3地域で最も深刻な状況にある。

介護者の健康状態も最も悪く、「疲れやすい」36.4%、「イライラしやすい」27.3%、「持病で通院中」45.5%と、身体的・精神的負担を感じているを方が多い。

勤め先に求める支援では「介護休業等の制度の充実」を50%が希望しており、制度的な支援へのニーズが強い。

課題：訪問医療・訪問看護体制の強化、介護者へのレスパイトケア、入浴・外出支援の充実、老老介護世帯への支援